

3 横断管渠排水

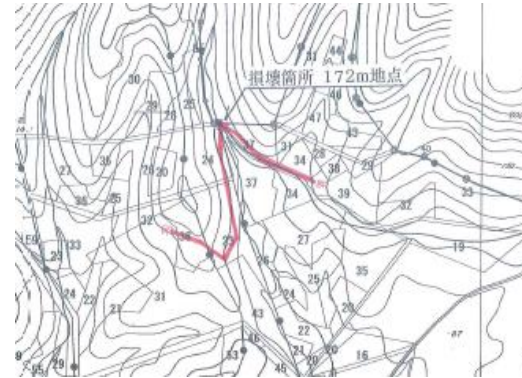
(1) 損壊状況(例)

○路線と交差する小沢が降雨により一時的に増水し、管渠(ヒューム管)の許容量を超え、路体ごと侵食

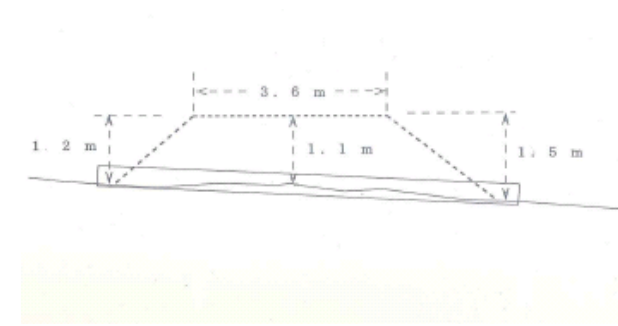
・状況写真



・平面図



・横断面図

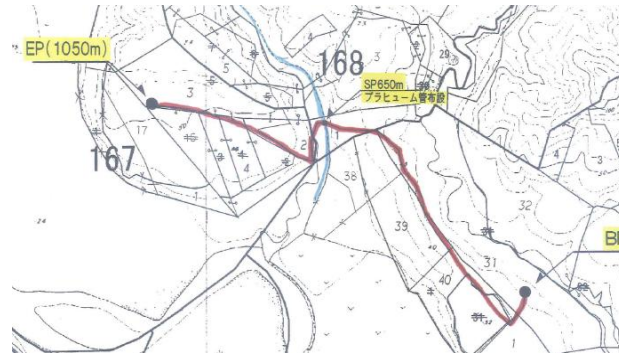


○局地的な降雨により、暗渠(ヒューム管)の許容量を超え、路体ごと侵食

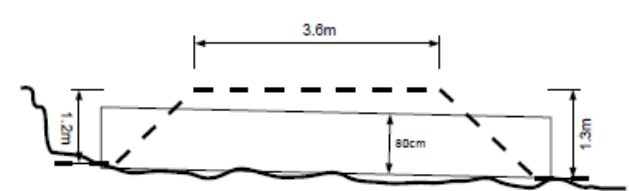
・状況写真



・平面図



・横断面図



(2) 横断管渠排水工による損壊が発生した要因

・作業路が沢部を渡る際、管渠工を回避するようなルート変更の検討が行われず、施工が簡単な管渠を設置した結果、降雨時に流出した土砂等により呑口部が閉塞し、路体が損壊。

(3) 対策

・作業路等が沢を横断する場合は、管渠による排水は行わず、極力、現場で発生した転石等を利用した洗越しにより下流に流下させる。